



平成 30 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 JXTGホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 幸雄
コード番号 5020 東証・名証第1部
問合せ先 財務IR部IRグループマネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6257-7075)

当社子会社（東邦チタニウム株式会社）の個別業績の前期実績値との 差異に関するお知らせ

当社の連結子会社である東邦チタニウム株式会社（証券コード：5727・東証第一部）が本日公表いたしました平成30年3月期個別業績に係る実績値につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期の実績値（個別）と前期実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (平成29年3月期)	百万円 29,604	百万円 3,617	百万円 3,864	百万円 3,413	円 銭 47.96
今回実績(B)	39,526	4,504	4,199	3,909	54.94
増減額(B-A)	9,922	887	335	496	—
増減率(%)	33.5	24.5	8.7	14.5	—

2. 差異の理由

金属チタン事業では、主な最終需要である航空機の生産が堅調であったほか、一般工業用では前期のような大型淡水化プロジェクトが無かったものの電力向け等の需要があり、総じて安定的に推移しました。こうした状況のもと、金属チタン事業の売上高は、スポンジチタンの増販を主因として前期に比べ増加しました。

機能化学品事業の売上高は、プロピレン重合用触媒及び電子部品材料（高純度酸化チタン、超微粉ニッケル等）の増販により、前期に比べ増加しました。

以上の結果、売上高、利益とも前期に比べ増加しました。

以 上